## 令和5年度名取市水田農業推進協議会水田収益力強化ビジョン

## │1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

名取市は、宮城県の県都である仙台市の南部に位置し、名取川・阿武隈川の両水系に囲まれた広大で肥沃な土地を有し、総面積98.17k㎡で東西15km、南北8kmと東西に長く、西部一体を丘陵部、中部平坦地、東部平坦湿地部の3地帯からなる。気候は表日本型で太平洋を北上する黒潮のため冬季でも比較的温暖である。

平成23年3月東日本大震災の津波による浸水面積は1,500haを超えるなど農地に壊滅的被害をもたらしたが、その後の復旧工事やほ場整備により、平成29年度からは大部分の水田で作付可能となるなど、被災地域の営農再開は進んでいる。

このような状況の下、水田では主食用米をはじめ、大豆・麦、加工用米、飼料用米、 せり・えだまめ・ねぎ、その他の野菜などの生産が行われている。令和4年度作付面積 の割合は、主食用米が約54%、麦・大豆が19%、飼料用米が13%、加工用米が5% と、生産の目安に沿った生産が行われており、転作作物としては戦略作物が大きな割合 を占めている。

米政策の見直しから5年目となった令和4年度においては、昨年度同様に、畑作物の直接支払交付金と水田活用の直接支払交付金の転作作物への交付金や宮城県農業再生協議会が設定した「生産の目安」等をもとに、需要に応じた生産を行うことが出来た。

令和5年度においても水田活用の直接支払交付金や「生産の目安」を活用し、需要に 応じた生産の推進及び転作作物の本作化を図っていく。

## 2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力 強化に向けた産地としての取組方針・目標

農業者の所得向上や水田農業の発展を図るため、水稲をはじめとした園芸を組み合わせた複合経営を行っていく。特に、本市のブランド農産物であるせりについては、さらなるブランド振興を図るべく「仙台せり」として、GIの取得を目指しているところである。また、新規就農者の相談も増加していることから、せりの作付けをより一層推進する。

# |3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標|

農地の利用集積は、圃場整備等に併せた作業受委託など農地集積を行っており、集積率は向上している。また、高齢による離農に伴い、農地中間管理機構を活用した集積も増加している。

水田利用状況を令和3年度~令和5年度において、数年間畑作が継続している水田、 水稲の作付実績のない水田を点検する。対応方針については点検結果を踏まえたうえで、 必要に応じて畑地化等の支援も検討していく。

ブロックローテーションは、担い手農家等を中心とし、作業受委託等で主に大豆を転作作物とし推進していく。

# 4 作物ごとの取組方針等

### (1) 主食用米

需要に応じた主食用米の安定生産のため、「生産の目安」をもとにした生産に取り組む

とともに、品質向上や安定生産に向けた技術対策、省力、低コスト生産等により、収益性の向上を図る。

### (2) 備蓄米

取組なし

#### (3) 非主食用米

#### ア 飼料用米

食料・農業・農村基本計画(令和2年3月閣議決定)における飼料用米の生産拡大の位置づけに連動し、産地交付金を活用して、多収品種の導入や省力、低コスト生産等により作付拡大を図る。

#### イ 米粉用米

主食用米の国内需要が減少する中、産地交付金を活用して、米粉用米の作付拡大を図る。

### ウ 新市場開拓用米

主食用米の国内需要が減少する中、産地交付金を活用して、米の新市場開拓を図る。

### エ WCS 用稲

主食用米に代わる転作作物として、有効であること。戦略作物助成による交付単価が高いことから、WCS 用稲の作付拡大を図る。

#### 才 加工用米

主食用米の生産体制により取組可能な需給調整の有効手段として、JAの需給に係る情報等を踏まえながら、産地交付金を活用して、省力、低コスト生産等により作付の維持拡大を図る。

#### (4) 麦、大豆、飼料作物

宮城県における水田フル活用の最重点作物とした作付拡大の位置づけに連動し、産地 交付金を活用して、団地化や大規模化による作業集積により作付の維持拡大を図る。

### (5) そば、なたね

戦略作物の作付が困難な地域における生産や実需者等との結びつきによる生産を、産 地交付金を活用して、排水対策と適期収穫等により、単収増加と品質向上、作付の維持 拡大を図る。

### (6) 地力增進作物

地力増進作物を作付し、産地交付金を活用しながら、田へのすき込みを行い、地力回復と連作障害回避として当年度または次年度の作付に繋げるようにする。

#### (7) 高収益作物

地域の特産品である「せり」、「えだまめ」をはじめとする販売を目的とした野菜や花き・花木の生産に取り組み、産地交付金を活用して、水田における収益性の高い農業、 農家所得の向上を目指し、作付の維持拡大を図る。

また、収益性の高い土地利用型園芸の拡大を目指し、産地交付金を活用して、露地野

菜の団地化による作付拡大を図る。

5 作物ごとの作付予定面積等 ~ 7 産地交付金の活用方法の概要

別紙のとおり

# 5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

	前年度作付面積等		当年度の 令和5年度の			
上 作物等			ラー度の 作付予定面積等		で和5年度の 作付目標面積等	
17120 4		うち		うち		うち
		二毛作		二毛作		二毛作
主食用米	1, 204		1, 213		1, 213	
備蓄米	0		0		0	
飼料用米	282		277		277	
米粉用米	0		0		0	
新市場開拓用米	0		0		0	
WCS用稲	0		0. 1		0. 1	
加工用米	113		107		107	
麦	64	0	69	0	69	0
大豆	348	14	367	29	367	29
飼料作物	16	8. 7	27	14	27	14
<ul><li>・子実用とうもろこし</li></ul>	5. 5	0	9. 9	0	9. 9	0
そば	10	8. 1	13	7. 9	13	7. 9
なたね	0		0		0	
地力増進作物	0. 02	0	0. 02	0	0. 02	0
高収益作物	96. 9		95. 8		95. 8	
• 野菜	88. 1		87. 7		87. 7	
せり	17		17		17	
えだまめ、ねぎ	8. 1		7. 7		7. 7	
その他野菜	63		63		63	
・花き・花木	6. 9		6. 1		6. 1	
・果樹	1. 9		2		2	
・その他の高収益作物	0		0		0	
その他						
.00						

# 6 課題解決に向けた取組及び目標

<u> </u>	の味趣件人に向けた状態及び自然							
整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度(実績)	目標値			
1	麦、大豆 (基幹作)	作業集積加算 (麦、大豆)	取組面積及び10a当たりの収量	(令和4年度) 麦63ha(291kg) 大豆324ha(161kg)	(令和6年度) 麦60ha(368kg) 大豆330ha(168kg)			
2	大豆(種子用大豆は除 く)、そば、飼料作物(別 表3のとおり)	二毛作助成	取組面積の目標 戦略作物面積のうち二毛作の 割合	(令和4年度) 30ha(8%)	(令和6年度) 60ha(15%)			
3	飼料用米生産ほ場の稲わら (基幹作)	耕畜連携助成 (わら利用)	飼料用米作付面積 耕畜連携稲わら利用取組面積	(令和4年度) 281ha 126ha	(令和6年度) 290ha 170ha			
4	せり (基幹作)	地域振興作物助成 (せり)	地域振興作物の作付面積	(令和4年度) 16. 4ha	(令和6年度) 17ha			
5	えだまめ、ねぎ(基幹作)	地域振興作物助成 (えだまめ、ねぎ)	地域振興作物の作付面積	(令和4年度) 6.3ha	(令和6年度) 6. 4ha			
6	せり・えだまめ・ねぎを除く野菜、花き・花木(基幹作) (別表6)	地域振興作物助成 (せり・えだまめ・ねぎ を除く野菜、花き・花 木)	地域振興作物の作付面積	(令和4年度) 25. 8ha	(令和6年度) 33ha			
7	そば、なたね、新市場開拓 用米、地力増進作物助成 (基幹作)	【国枠】そば、なたね、 新市場開拓用米、地力増 進作物助成	そば、なたね、新市場開拓用 米、地力増進作物作付面積	(令和4年度) 2ha	(令和6年度) 5. 5ha			
8	新市場開拓用米	【国枠】新市場開拓用米 の複数年契約	複数年契約取組面積	(令和4年度) 0ha	(令和6年度) 1. 1ha			

<sup>※</sup> 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

<sup>※</sup> 目標期間は3年以内としてください。

#### 7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:宮城県

協議会名:名取市水田農業推進協議会

整理番号	<b>使途</b> ※1	作 期 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	作業集積加算(麦、大豆)	1	8,000(追加配分時の上限単価15,000)	麦、大豆(基幹作)	出荷販売契約を締結し、収穫・出荷・販売を行うこと
2	二毛作助成	2	9,000(追加配分時の上限単価15,000)		戦略作物助成の対象となる作物の作付地における戦略作 物の作付に取り組むこと
3	耕畜連携助成(わら利用)	3	5,000(追加配分時の上限単価15,000)		畜産農家との間に飼料用米生産ほ場の稲わらを飼料とする利用供給協定を締結し、飼料用米生産ほ場の稲わらを飼料として提供すること
4	地域振興作物助成(せり)	1	7,000(追加配分時の上限単価13,000)	せり(基幹作)	せりを生産及び出荷・販売すること。
5	地域振興作物助成(えだまめ、ねぎ)	1	6,000(追加配分時の上限単価11,000)	えだまめ、ねぎ(基幹作)	えだまめ、ねぎを生産及び出荷・販売すること。
6	地域振興作物助成(せり・えだまめ・ね ぎを除く野菜、花き・花木)	1	5,000(追加配分時の上限単価11,000)		せり・えだまめ・ねぎを除く野菜、花き・花木を生産及び出 荷・販売すること。
7	【国枠】そば、なたね、新市場開拓用 米、地力増進作物助成	1	20,000	増進作物(基幹作)	需要者等との出荷・販売契約等を締結し、生産・出荷・販売を行うことうち、新市場開拓米については、生産者側(生産者又は生産者団体のいずれか)と需要者側(需要者又は需要者団体のいずれか)の契約であること
8	【国枠】新市場開拓用米の複数年契約	1	10,000	新市場開拓用米	生産者側(生産者又は生産者団体のいずれか)と需要者側 (需要者又は需要者団体のいずれか)の契約であること

<sup>※1</sup> 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。 ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「○○○(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

<sup>※2 「</sup>作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

<sup>※3</sup> 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

<sup>※4</sup> 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

(別表3)飼料作物等の範囲 青刈りとうもろこし 青刈りソルガム テオシント スーダングラス 青刈り麦(らい麦又はえん麦を含む。またサイレージ化したものを含む。) 青刈り大豆 子実用えん麦 青刈り稲 WCS用稲 わら専用稲 青刈りひえ しこくびえ オーチャードグラス チモシー イタリアンライグラス ペレニアルライグラス ハイブリットライグラス スムーズブロムグラス トールフェスク メドーフェスク フェストロリウム ケンタッキーブルーグラス リードカナリーグラス バヒアグラス ギニアグラス カラードギニアグラス アルファルファ オオクサキビ アカクローバ シロクローバ アルサイククローバ ガレガ ローズグラス パラグラス パンゴラグラス ネピアグラス セタリア 飼料用かぶ 飼料用ビート 飼料用しば

## (別表6) 産地交付金の活用方法の明細(個票)

## 地域振興作物一覧表

名取市水田農業推進協議会

作物番号	分類	作物名	作物番号	分類	作物名
TF物番与		キャベツ		野菜	<u> </u>
2	野菜		24	野菜	パセリ
3	野米	たまねぎ	25	17米	ハゼリ
	野菜	にんじん	26	野菜	しそ
4	野菜	いちご	27	野菜	にんにく
5	野菜	はくさい	28	野菜	にら
6	野菜	ブロッコリー	29	野菜	みょうが
7	野菜	ほうれんそう	30	野菜野菜	ウルイ
8	野菜	モロヘイヤ	31	野菜	こまつな
9	野菜	キュウリ	32	野菜	ズッキーニ
10	野菜野菜	トマト	33	野菜野菜	キクイモ
11	野菜	なす	34	野菜	ベビーリーフ
12	野菜	ピーマン	35	野菜	赤しそ
13	野菜	カボチャ	36	花き•花 木	きく
14	野菜	メロン	37	花き•花 木	けいとう
15	野菜	レタス	38	花き•花 木	ハス
16	野菜	さといも	39	花き•花 木	その他花き・花木※1
17	野菜	れんこん	40	野菜	その他野菜※2
18	<u>野菜</u> 野菜	だいこん			
19	野菜	青さやインゲン			
20	野菜	未成熟とうもろこし			
21	野菜野菜	食用ばれいしょ			
22	野菜	食用かんしょ			
23	野菜	アスパラガス			
/ = 0 // O		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			

(その他の品目名)

<sup>※1</sup>その他花き・花木:カーネーション、バラ、綿花、ヒイラギ、ツゲ、ブプレリューム、キリシマ、サツキ、グラジオラス、トルコギキョウ、キイチゴ、ボケ

<sup>※2</sup>その他野菜: カリフラワー、チンゲンサイ、ゆきな、そらまめ、おおば、かぶ、グリーンピース、さやえんどう、しゅんぎく、スナップエンドウ、つぼみ菜、 つるむらさき、なばな、クレソン、ゴーヤ

(別表7)地力増進作物等の範囲 イタリアンライグラス ソルガム れんげ えん麦 青刈りトウモロコシ ギニアグラス スーダングラス アカクローバー アルサイククローバー ベッチ ペルコ カラシナ レバナ はぜりそう マリーゴールド ひまわり キガラシ ステビア ナタネ ヘイオーツ

ライ麦